

(様式 1 - 3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 26 年 9 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	災害公営住宅整備事業等(横堀平)	事業番号	A-1-1
交付団体		大玉村	事業実施主体(直接/間接)	大玉村(直接)	
総交付対象事業費		22,000(千円)	全体事業費	22,000(千円)	
事業概要					
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：67戸</p> <p>整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>整備手法：建設</p> <p>建設する建物の構造：木造平屋及び2階建て戸建て住宅(67棟)</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください 『福島県復興計画(第2次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン(平成24年3月)」</p> <p>取組名：快適な住生活の確保</p> <p>取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生</p> <p>原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に400人が生活をして(平成24年1月現在)おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。</p> <p>避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。</p>					

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 26 年 9 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	公営住宅管理システム導入事業	事業番号	◆A-1-1-1
交付団体		大玉村	事業実施主体 (直接/間接)	大玉村 (直接)	
総交付対象事業費		3,767 (千円)	全体事業費	3,767 (千円)	
事業概要					
<p>現在建設が進められている富岡町民向けの災害公営住宅 (横堀平地区) の公営住宅管理システムを導入する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>整備戸数: 67 戸</p> <p>整備箇所: 福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>入居市町村: 富岡町</p> <p>建設する建物の構造: 木造平屋及び 2 階建て戸建て住宅 (67 棟)</p> <p>本村においては特定公共賃貸住宅が 8 戸あるだけで、入居者への家賃の通知等も容易であったが、災害公営住宅を整備するにあたり入居者の収入状況等も家賃の算定の基準になることから、入居者管理、家賃算定業務を円滑かつ適正に執行するために公営住宅管理システムを導入する。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <p>『福島県復興計画(第 2 次)』</p> <p>取組名: 生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容: 避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン (平成 24 年 3 月)」</p> <p>取組名: 快適な住生活の確保</p> <p>取組内容: 安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生</p> <p>原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に 400 人が生活をして (平成 24 年 1 月現在) おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。</p> <p>避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>公営住宅管理システムを導入することで、現在進められている災害公営住宅の適正な入居者管理が図られる。</p>					

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-1-1
事業名	災害公営住宅整備事業
交付団体	国土交通省
基幹事業との関連性	
<p>居住制限者向けの災害公営住宅整備については平成 27 年 3 月の竣工を目指しており、並行して管理システムを導入することにより、適正な家賃算定、入居者管理が図られる。</p>	

(様式 1-3)

大玉村生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 26 年 9 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	災害公営住宅整備事業等(横堀平)	事業番号	A-1-2
交付団体	大玉村		事業実施主体(直接/間接)	大玉村(直接)	
総交付対象事業費	2,150,000(千円)		全体事業費	2,150,000(千円)	
事業概要					
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている富岡町民の居住の安定を確保するため、早期に災害公営住宅を整備する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備戸数：67戸</p> <p>整備箇所：福島県安達郡大玉村玉井字横堀平地内</p> <p>整備手法：建設</p> <p>建設する建物の構造：木造平屋及び2階建て戸建て住宅(67棟)</p> <p>今回の変更は、敷地造成工事費の増額変更である。(増額工事費267,221千円)</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください『福島県復興計画(第2次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p> <p>「大玉村災害復興ビジョン(平成24年3月)」</p> <p>取組名：快適な住生活の確保</p> <p>取組内容：安心して大玉に住み続けられる、転入してもらえる住環境の再生</p> <p>原発事故直後に富岡町民を受け入れ、応急仮設住宅に400人が生活をして(平成24年1月現在)おり、避難生活はさらに長期となる見込みである。</p> <p>避難生活を余儀なくされている富岡町民が、一刻も早く安心して住める住環境を整備し、健康で文化的生活ができるよう支援する。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、富岡町は全町民避難を余儀なくされ、役場機能も含め、県内外に分散している。</p> <p>災害公営住宅は、避難されている住民にとってのコミュニティの形成・維持の拠点となるものであり、早期に整備することが必要である。また、災害公営住宅にはコミュニティのため公園を併設するなど、入居者はもちろん、周辺に避難されている方も含めて交流できるよう整備を行う。</p>					

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	